

〈様式2〉

## 令和5年度 体力向上における各校の成果(小学校)

勝山市

教育委員会

No	学校名		成 果
1	平泉寺	小学校	基礎体力の向上に取り組んだり環境づくりに励んだりしたことで、体力テストの結果で、県平均をこえた項目数が男女合計31、昨年度の自校の記録を上回った項目数は合計21となった。また、少人数の学校のため、身近に目標となる人がいるおかげで、いろいろな技にチャレンジする姿や気軽に教え合う姿が見られた。全校みんなが運動に親しむことができるような環境が少しずつ整ってきた。
2	成器南	小学校	今年度も業間運動を継続して行い、レツトトレーニングタイムでは、児童が意欲的に短距離走や鉄棒に取り組む姿が見られた。さらに、縦割り班ごとに活動したことで、高学年の児童が低学年の児童に寄り添いながら運動に取り組む姿も見られた。また、体力テストにおいては、昨年度の自校の結果と比べて27項目の数値が向上した。特に6年男女は全ての項目で数値が向上していた。連合体育大会においては、8の字跳びで5、6年生共に自己ベストの記録を出すなど、多くの児童が練習の成果を発揮した。
3	成器西	小学校	体力テストでは半数の項目が、県平均の数値を超えている。特に、反復横跳びは4～6年女子、6年男子、50m走は4年男子以外が県平均を上回る結果であった。業間の運動に進んで取り組んでいる児童が多く、週に1回のサーキットトレーニングではタイヤ跳びで早く跳び移る運動、遊具の頂上まで体全体を動かしながら登っていく運動を行ってきた。その活動を通して児童の体力や瞬発力がついたのだと考えられる。
4	村岡	小学校	学校評価では、目標をもって運動に取り組むことができたと答える児童が全校で96%であった。体力テストでは、20mシャトルランの結果が4年生男女・6年生男女で県平均を上回ることができた。
5	三室	小学校	連合体育大会では、6つの種目で3位以内に入賞することができた。体力テストの7つの種目で、4～6年生の女子が県平均を上回ることができた。また、6年生男子がすべての種目で県平均を上回ることができた。
6	野向	小学校	器械運動では放課後練習を行ったことで、上級生の技を見て刺激を受け、新たな技に挑戦しようとする児童が多かった。連合体育大会に向けて、児童は意欲的に練習に取り組んだ。体育の時間や放課後に練習を重ね、大会当日は、多くの児童が自己の記録を更新して入賞を果たした。なわとび大会などの学校行事は児童の運動への意欲を高めた。行事に向けて、休み時間に自主的に集まって練習する児童の姿もみられた。
7	荒土	小学校	外遊びを推奨したりグラウンドの用具を整備したりした結果、6月の生活アンケートでは、「体を動かしたり、運動をしたりすることが好き」という設問に対し、肯定的に回答した児童の割合が、昨年度の87%から90%に上昇した。
8	鹿谷	小学校	数値には表れにくい、「ハンビ体操」に全学年で取り組んだことで、低学年を中心に多様な動きや柔軟性が身につけてきたように感じる。また、運動の中に柔軟性や握力を高める動きがあることで、体力テストの上体起こしや握力で県平均を上回った。様々な動きを身に付けるためには低学年からの積み重ねが重要であるため、今後も継続して行いたい。
9	北郷	小学校	マラソンやなわとびでカードと掲示物を用いて意欲付けを行ったことがよかった。友達との競争意識や、自分の努力を誰かに見てもらい自己肯定感を上げることだけでなく、行事後のふり返りや昨年度との比較にも活用できた。なわとび大会の司会を児童が行う等、委員会主体でできる取り組みを増やし、児童会活動の活性化を促した。